

# 「原子力災害時避難円滑化モデル実証事業」の 令和2年度交付決定について

## 本事業の趣旨

原子力緊急事態に備え、住民等の円滑な避難又は一時移転を確保するために、交通誘導対策等の強化や避難経路上の改善を行う等により、原子力災害時における住民等の避難をより円滑に行うための取組み等について支援を行い、原子力防災対策の一層の充実・強化を図る。

## 交付先及び交付決定額

本事業の令和2年度の予算額15.0億円のうち、新規採択分として4.6億円を4県が行う4件の事業について採択を行うものとし、下表のとおり交付決定を行う（継続分（9.2億円）は本年4月1日に交付決定済み）。



県名	事業の概要	交付決定額	令和2～4年度(3年間) の総事業費見込( )
宮城県	発電所近傍における避難円滑化対策	0.6億円	5.0億円
新潟県	豪雪地帯における避難円滑化対策	2.0億円	4.7億円
佐賀県	玄海地域における離島地域からの避難円滑化対策	1.7億円	4.8億円
長崎県	玄海地域における離島地域からの避難円滑化対策	0.3億円	1.3億円
合 計		4.6億円	

総事業費の見込は、本採択事業の令和2～4年度までの3年間の経費見込を合計したものの、次年度以降の経費については、当該年度の予算の範囲内で年度毎に交付決定を行う。  
なお、計数はそれぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない。

# 【参考】各県の事業計画の概要

名称	事業内容等		事業区域等の概略図	
宮城県	<概要>発電所近傍における避難円滑化対策 R2:0.6億円		 <p>女川地域(宮城県)</p>	
	事業区域	女川町		
	実施個所・路線等	塚浜地区及び小屋取地区		
	事業区域の概要及び課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>町道飯子浜小屋取線については、主要避難経路である県道41号女川牡鹿線まで到達する唯一の経路であるが、海沿いの低平地を通るため、津波等の複合災害が発生した場合、通行不能となる可能性が高く、塚浜地区及び小屋取地区住民が避難できず孤立する懸念がある。</li> </ul>		
	事業実施計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>塚浜地区から避難用バスや福祉車両が迎えに来られる場所までアクセス可能な代替避難経路となる防災広場(バリアフリー歩道及び避難用バス等の到着までの住民避難場所を含む。)を整備する。</li> <li>防災広場の入口に、通行可能となる一定の条件を明示した看板等を設置する。</li> </ul>		
新潟県	<概要>豪雪地帯における避難円滑化対策 R2:2.0億円		 <p>柏崎刈羽地域(新潟県)</p>	
	事業区域	柏崎市		
	実施個所・路線等	柏崎地域		
	事業区域の概要及び課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>柏崎地域については、特別豪雪地帯に指定されており、降雪等による視界不良、路面凍結等、複合災害による夜間停電により、バス避難住民のバス避難一時集合場所への避難困難、もしくは避難の大幅な遅延が想定される。また地域情報集積地として位置付けられているコミュニティセンターでは、停電時における電力確保が課題となっている。</li> </ul>		
	事業実施計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス避難一時集合場所等に照明や誘導案内板を設置するなど、交通誘導対策を実施する。</li> <li>コミュニティセンターにおける蓄電池及び可搬型LED照明について、実現可能性調査を行い、その結果に基づき、設計・設置する。</li> </ul>		

# 【参考】各県の事業計画の概要

名称	事業内容等		事業区域等の概略図
佐賀県	<概要>玄海地域における離島からの避難円滑化対策 R2:1.7億円		<div data-bbox="1464 164 1906 221" style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">玄海地域(佐賀県)</div> 
	事業区域	玄海地域	
	実施個所・路線等	離島7島(高島、神集島、小川島、加唐島、松島、馬渡島、向島)等	
	事業区域の概要及び課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・架橋がない離島については、避難経路が海路のみであり、港湾施設が被災した場合には島内で孤立する懸念がある。</li> <li>・架橋がある離島については、発災時に陸路による避難を行うが、一部の避難経路に狭隘な部分があり、避難に支障が出る懸念がある。</li> </ul> なお、上記は佐賀・長崎両県の課題であり、連携した対応が必要。	
事業実施計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・架橋がない離島において、避難方法の多重化を図るため、ヘリコプターの場外離着陸場等を整備する。</li> <li>・架橋がある離島において、避難経路円滑化を図るため、電光情報板設置や信号機遠隔操作整備等を実施する。</li> </ul>		
長崎県	<概要>玄海地域における離島からの避難円滑化対策 R2:0.3億円		<div data-bbox="1464 821 1906 878" style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">玄海地域(長崎県)</div> 
	事業区域	玄海地域	
	実施個所・路線等	離島2島(黒島、飛島)	
	事業区域の概要及び課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・架橋がない離島については、避難経路が海路のみであり、港湾施設が被災した場合には島内で孤立する懸念がある。</li> </ul> なお、上記は佐賀・長崎両県の課題であり、連携した対応が必要。	
事業実施計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・架橋がない離島において、避難方法の多重化を図るため、ヘリコプターの場外離着陸場等を整備する。</li> </ul>		